令和6年度　福祉工学　第1回レポート（4/9（火）実施）

HI1412

［学年］ 4　［番号］ 45 ［氏名］ 　山口惺司　　　　［得点］

【問題】（1項目につき2点，最高10点）

　高齢者や障害者だけでなく，身のまわりの人々が実際に遭遇したバリア（社会的，機器的など）を挙げよ．また，工学技術を応用して具体的に支援する方法があれば併せて述べよ．

・自転車で車道を走行しているとき、道の凹凸が激しかったり、車との距離が近くなり事故が起こりやすくなったりする。

　→自転車用道路を作り、整備する。

・複数人が同時に同じサイトにアクセスすることで、サーバーに負荷がかかり、動作が遅くなる。

　→サーバーを強化する。

・教室でエアコンを使用しているとき、人によって暑かったり寒かったりする。

　→一人ずつ体温を検知して風の流れを調整する。

・事故による車の渋滞

　→事故をいち早く検知しAIなどを用いて車を誘導し、渋滞を緩和する。

・高齢者がスマホやパソコンなどの最新の技術に追い付けていない。

　→直感的に操作できるデバイスを作る、講座を受けさせる。